



Experience history alive, today!

1886年6月10日未明、狂暴でしかも突如として起きたタラウェラ休火山の噴火はニュージーランドの自然災害の中の最大の惨事でした。

岩石、火山灰、煮滾る泥が恐ろしい勢いで、4時間以上もこの平和なワイロア村を襲い続けました。夜空を彩った炎とその噴火の轟々たる怒号は遠くオークランドでも見え、聞こえました。

ホテルも人家も、1.3ヘクタールの風光明媚なこのワイロア谷一帯にあった総てがこうも無残に全壊した様を目にした救助隊は息もつけぬ程狼狽し、と同時に畏怖に撃たれました。

自然界が無類なく獰猛に振る舞い、容赦ない暴力でこの村を襲撃した時に何が起きたかをご自分の目で確かめてください。



The Buried Village

ベリッド・ヴィレッジ探索は忘れることが出来ない強烈な印象を残し、きっと“又訪れてみたい！”と思うでしょう。



村の遺跡や博物館の傑出した展示に加え、ワイロア川の虹鱒への餌つけ、ワイロア滝への心地良い林道下り、ワイロア・ティールーム、スミス土産店などをお楽しみください。

ロトルア市内よりブルー・グリーンレイク観光道路経由で約15分の地点にあります。

毎日朝9時より開場

Tarawera Road, Rd 5, Rotorua, New Zealand

Phone/fax (07) 362-8287.

www.buriedvillage.co.nz

discover@buriedvillage.co.nz



BURIED VILLAGE of TE WAIROA Rotorua, New Zealand



噴火で
埋もれた村
の
歴史を知ろう。

discover
history
alive
today

“We are in the midst of a terrible convulsion of nature...”

1886年6月のある晩、静寂そのもののワイロア村が恐ろしい地球の怒りに触れて壊滅するとは人々の夢想にも無かった。月光に輝いていた、世界の不思議の8番目に数えられていたあの‘ピンクとホワイトのテラス’も、総てが轟々と唸り猛る地核活動に巻き込まれ跡形も無く地上から消滅した。

タラウェラ湖に流れ込む谷沿いにあったワイロア村は1848年キリスト教宣教師を中心に村として形態を整えた。1860年代のマオリ族間の土地戦争時代に人々は離散、村は荒廃に陥ったが、その後数年の間に‘ピンクとホワイトのテラス’へ訪れる観光客の足がかりの村となり、人口も増えた。

1886年のタラウェラ山の噴火は過去2万年の間に起きたロトルア地区での数多くの火山活動の中で最も新しい活動であった。‘テラス’もワイロア村も、近くにあった小さな二つの村も熱い火山灰の中に埋もれ、死者は150人以上にも及んだ。

散策路は木立を縫い、牧場を見ながら、ワイロワ川に沿って屈曲する。道筋から発掘された当時の住居跡や各種の遺跡が見える。

博物館には噴火当時の村人の生活を偲ばせる品が多数展示されており、噴火が齎した惨事の様相が生々しく感じられる。

VOLCANIC

噴火で破壊された村が発掘、展示されています。未だ泥と灰の厚い層の下に沢山の家屋が埋没されています。発掘作業は今後も継続。

• Museum of Te Wairoa

• ワイロア博物館
ワイロア村の歴史を陳列品、展示物、写真等で迎えます。怒号の様に押し寄せた災難を叙述に物語っている。

• Blacksmith's • 鍛冶屋

入り口の部分は住居区で村で発掘された各種の食器等の展示。後部は鍛冶屋の店兼仕事場。多種多様な鍛冶道具、各種馬車のパーツの展示。

• Tohunga's whare

• 祈祷師の住処
この建物の中に、噴火を予言した祈祷師が100時間も生き埋められ、救出後数日して逝去。享年110歳と云われている。

• **Maori whare** マオリの家
床レベルまで発掘。1931年に初めて発掘が行われた時に回収された砂岩製暖炉、その他の発掘品が展示。

• Flour Mill

• 製粉機
製粉機の石臼、ギヤー等のパーツ展示。小麦はワイロア谷で収穫、川の水を引き込んで水車を回し製粉。

• **Aspen poplars** ポプラ並木
この国の最高を誇るポプラの仲間です。この並木は土地境界線を示すために打ち込まれた杭から伸びました。白いペンキを塗ったその杭をご覧ください。

• Barman's house

• バーマンの家
食器や家財道具、瓶や酒場の道具、器具、暖炉や鋳鉄製の寝台枠等の展示。

• Stone Chimney

• 石造りの煙突
道路の向こうの岡の上に村のマオリ族のリーダー格の住居跡が発掘された。

• Faloona's Store

• ファルーナ雑貨店
村にはタバコ、歯ブラシ等あらゆる日常雑貨を扱う雑貨屋が2軒あった。噴火数日後にこの店は略奪された様子。

• Rotomahana Hotel

• ロトマハナ・ホテル
木造2階建ての建物は噴火後6時間程で崩壊、英国人観光客1名と共に犠牲者となった。テラスを訪れる観光客の宿舎でした。

• Baker's oven

• パン屋のオープン
地元で採れた小麦を使ったパンがこの大きな窯で焼かれた。窯は切り出された火山石と輸入耐火レンガ製。

• Stone storehouse

• 石造りの食料貯蔵庫
この地所にあった二つの貯蔵庫のうちの一つ。マオリの村人は食料をこの貯蔵庫に置いて冬に備えた。扉の両側に珍しいマオリの彫刻が施されている。

• Trout stream

• 虹鱒
グリーン湖から標高差100メートル下のタラウェラ湖へ流れ込む全長3キロのワイロア川は沢山の虹鱒の棲息、産卵地。

• **Te Wairoa falls** 三段の滝
急なボードウォークが天然林を縫って滝見台へ。散策路は第二と第三の滝の間で流れを横切り、更に登り続けるとティールームとお土産屋へ連なる。

